

収集データ項目と内容案（平成18年度）

No	提出	項目番号	項目	内容（コード）
1		10	患者番号	貴施設での任意の番号（カルテ番号は避ける）
2		50	性別	1：男、2：女
3			年齢	診断あるいは入院（初診）時の年齢。 年齢計算は日数を365.25で割り、下1桁切り捨て。
4		150	来院経路	0：自主、紹介（1：他院より、2：がん検診、3：健康診断、4：人間ドック） 5：当院にて他疾患の経過観察中、6：剖検、8：その他、9：不明
5		170	診断時指示	1：入院治療、2：外来治療、3：外来経過観察、4：他院へ紹介、9：来院中断
6		180	症例区分 ^{注1)}	1：診断のみ（貴院で診断のみ、初回治療は他院） 2：診断+初回治療（貴院で診断、初回治療実施） 3：初回治療のみ（他院で診断、初回治療は貴院） 4：新発生の初回治療開始後の継続治療もしくは再発（他院で診断と初回治療実施） 5：剖検による診断 6：登録開始以前の症例 8：その他（いずれにも分類しがたい）
7		160	診断結果	1：新発生確認、2：疑診、3：治療開始後
8		190	告知状況	1：病名、さらには病期・予後を含めた告知、2：病名のみ告知、 3：悪性以外の告知、4：告知せず、 8：前医で告知済み、9：告知の内容不詳
9		200	部位コード	ICD-10でコード（例：C169）
10		230	臨床病期	診断時の病期コード（1：I期、2：II期、3：III期、4：IV期、9：不明）
11		240	TNM分類	T（ ）
12		250		N（ ）
13		260		M（ ）
14		270	病理学的病期	術後の病理診断による病期コード（術前治療の場合は登録しない）
15		280	pTNM	pT（ ）
16		290		pN（ ）
17		300		pM（ ）
18		310	臨床進行度	0：上皮内、1：限局、2：所属リンパ節転移、3：隣接臓器浸潤 4：遠隔転移、9：不明
19		330	組織診断	ICD-03コード（6桁）（例：8070/32または807032）
20			治療内容	1：完全治癒、2：不完全治癒、3：治癒（完全・不完全不詳） 4：姑息・対症療法（緩和ケア）、9：不明
21			侵襲的アプローチ ^{注2)}	0：なし、1：外科的、2：体腔鏡的（腹腔鏡、胸腔鏡）、3：内視鏡的 （polypectomy, EMR, TURなど）、8：その他、9：不明
22		550	放射線治療	0：なし、1：施行、9：不明
23		560	化学療法 ^{注3)}	0：なし、1：施行、9：不明（3：アントサイクリン系、4：CMF、5：経口薬、6：その他）
24		570	免疫・BRM療法	0：なし、1：施行、9：不明
25		580	内分泌療法 ^{注4)}	0：なし、1：施行、9：不明（3：抗エストロゲン、4：LH-RHアナログ、5：プロゲステロン、 6：その他）
26		590	TAE	0：なし、1：施行、9：不明
27		600	PEIT	0：なし、1：施行、9：不明
28		610	温熱療法	0：なし、1：施行、9：不明
29		620	レーザー治療	0：なし、1：施行、9：不明
30			生存期間	起算日から生死確認日までの日数
31		660	生死状況	0：生存、1：死亡、9：不明

：必須の項目、：できるだけ提出、：可能であれば提出、：乳腺のみ必須（他部位はできるだけ提出）

注1：症例区分で、貴院で再度診断し治療した場合は“2”にチェックしてください。

注2：侵襲的アプローチの「8：その他」とはTAE、局注療法などを指します。

注3：アントサイクリン系（アドリアミン、エドキシotinなど）、CMF（シクロホスファミド、メトトレキサート、フルオウラシル）、経口薬（UFTなど）

注4：抗エストロゲン（ルバテックス、フェストンなど）、LH-RH（ゾラレックス、リュプリンなど）、プロゲステロン（ヒソノドなど）

TAE：肝動脈塞栓術 PEIT：経皮的エタノール注入 BRM（Biological Response Modifiers）：生体応答調節剤